

評価ツール(案)の検討について

普及が
必要！

課題

- 来館者数やアクセス数等の従来型指標だけでは、デジタルアーカイブの取組が適正に評価されない
 - デジタルアーカイブの取組が自館の中で余分な業務と評価されている
- ⇒財政的・人的資源の確保が困難



これまでの成果

- 「我が国におけるデジタルアーカイブ推進の方向性」(平成29年4月)
補足資料「評価指標(例)」一覧 別紙1
- デジタルアーカイブを推進していると評価可能な指標(統計データ)の一覧
- メタデータやデジタルコンテンツの整備・公開促進の指標などを含む

本委員会での議論

- 多様な視点/価値観を取り入れた評価方法が必要
- どれだけデータが活用されたかが大事である
- オープンなデータを提供しているだけでも評価されるべき



「評価ツール」の開発へ

- アーカイブ機関やつなぎ役が自らのデジタルアーカイブの取組のバランスを自己評価可能にする
- 第三者がデータベースの比較評価をできるようにする



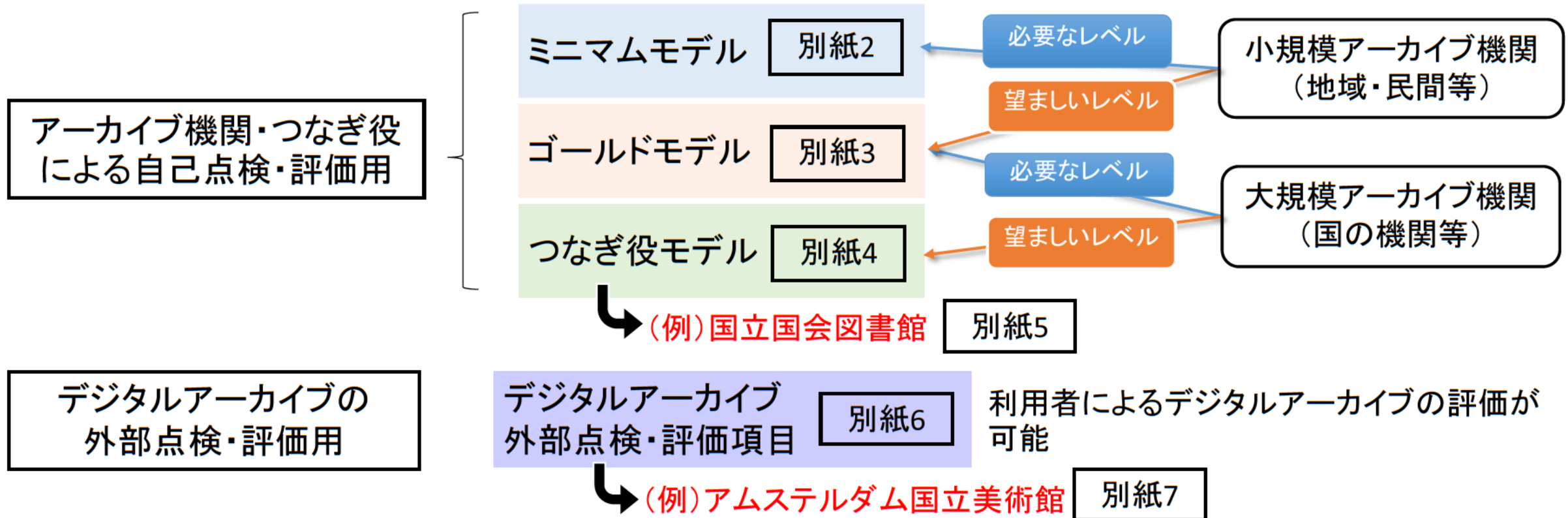
アーカイブ機関やつなぎ役による業績を評価し、
インセンティブの向上へ

評価ツール(案)

「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」に沿った形で必要な項目を洗い出し、
評価項目化

- ・ アーカイブ機関の自己点検・評価用(①ミニмумモデル、②ゴールドモデル、③つなぎ役)として3種
- ・ デジタルアーカイブの外部点検・評価用として1種

➡ 点検・評価結果はグラフ化(レーダーチャート等)を可能に



➡ 評価指標や評価ツールを活用した支援・仕組みづくりへ(例: 公的助成の要件等への追加、表彰)

(補足資料)

評価指標(例)一覧

デジタルアーカイブを推進していると評価可能な指標の例を以下の表で示す。

これは、Europeana 等で用いられている KPI を参考に作成した。

	アーカイブ機関用	つなぎ役用 ※「アーカイブ機関用」も使用可能。 ない場合だけ記載
メタデータの 整備状況	○メタデータ整備数 ○保有コンテンツに占めるメタデータ整備割合	○分野・地域コミュニティの参加アーカイブ機関の保有コンテンツに占めるメタデータ整備割合 ○統制した用語(辞書・典拠・シソーラス)の数 ○分野の共通用語への URI 付与数
サムネイル/ プレビュー の作成状況	○サムネイル/プレビュー作成数 ○保有コンテンツに占めるサムネイル/プレビューの作成割合 ○保有デジタルコンテンツに占めるサムネイル/プレビューの作成割合	○分野・地域コミュニティの参加アーカイブ機関の保有コンテンツに占めるサムネイル/プレビュー作成割合 ○分野・地域コミュニティの参加アーカイブ機関の保有デジタルコンテンツに占めるサムネイル/プレビュー作成割合
デジタルコン テンツの作 成状況	○デジタルコンテンツ作成数 ○保有コンテンツに占めるデジタルコンテンツ作成割合	○分野・地域コミュニティの参加アーカイブ機関の保有コンテンツに占めるデジタルコンテンツ作成割合
長期アクセ スの保証	○メタデータ又はデジタルコンテンツへの識別子の付与割合 ○館外公開デジタルコンテンツのうち、リンク切れの割合	○ポータル of 予定稼働時間に占める実際の稼働割合
メタデータの 提供状況	○メタデータ提供数(館内/コミュニティ内/館外公開別) ○整備済みメタデータに占める館外公開割合 ○多言語(英語・ローマ字等)に対応したメタデータ提供数(及び提供メタデータ数に占めるその割合)	○ポータルで共有している機関数又はデータベース数 ○ポータルで共有しているメタデータ数 ○API で提供している分野・地域コミュニティのメタデータ数
サムネイル/ プレビュー の提供状況	○サムネイル/プレビューの提供数(館内/コミュニティ内/館外公開別) ○提供デジタルコンテンツのうち、サムネイル/プレビューのある割合	○ポータルで共有しているサムネイル/プレビュー数

	アーカイブ機関用	つなぎ役用 ※「アーカイブ機関用」も使用可能。 ない場合だけ記載
デジタルコンテンツの提供状況	○デジタルコンテンツ提供数(館内/コミュニティ内/館外公開別) ○提供デジタルコンテンツのうち、直接リンクのある割合	○ポータルで共有しているデジタルコンテンツ数 ○分野・地域コミュニティの共有メタデータのうち、デジタルコンテンツ自体にアクセスが可能な割合
オープン化対応状況	○保有コンテンツに占める URI 付与割合 ○提供メタデータのうち CC0 を採用している割合 ○提供サムネイル/プレビューのうち、CC0、CC BY、PDM 等のオープンな条件を採用している割合 ○提供デジタルコンテンツのうち、CC0、CC BY、PDM 等のオープンな条件を採用している割合 ○ダウンロード可能なデジタルコンテンツ数(及び提供デジタルコンテンツに占めるその割合)	○分野・地域コミュニティの共有メタデータのうち、CC0 を採用している割合 ○分野・地域コミュニティの共有デジタルコンテンツのうち、CC0、CC BY、PDM 等のオープンなものの割合
利用条件表示状況	○提供デジタルコンテンツのうち、権利表記のあるものの割合	○分野・地域コミュニティの共有デジタルコンテンツのうち、権利表記のあるものの割合
アーカイブの活用状況	○検索数 ○デジタルコンテンツへのアクセス数 ○Google/ブログ・SNS 等での出現数 ○(アンケートによる)デジタルアーカイブの利用者満足度 ○電子展示会の開催数 ○活用のためのイベント開催数 ○(アンケートによる)イベント参加者満足度 ○二次利用事例数	○API サービスのユーザ数 ○API ユーザ満足度

※上記で「保有コンテンツに占める」と記載があるものについては、アーカイブ機関が保有する全コンテンツを対象にする場合と、特定の資料・作品群(コレクション)を対象にする場合が考えられる。

アーカイブ機関の自己点検・評価用 ミニмумモデル (小規模機関の必要レベル)			
評価項目		☑	合計点
【1. メタデータの整備・提供】			
1.1	所蔵するコンテンツのメタデータを電子ファイルで整備している(一部でも可)。	☐	
(説明) ※チェック項目が確定したら、解説をチェック項目ごとに追加します(以下同)			
1.2	〔同じ分野における標準的なメタデータフォーマットがある場合〕分野の標準にある程度準拠したメタデータ整備を行っている。 〔同じ分野における標準的なメタデータフォーマットがない場合〕「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」の必須項目(タイトル(ラベル)/作者(人物)/日付(時代)/場所)を含んでいる。(※タイトル以外は判明している場合のみ)	☐	
1.3	メタデータ項目の一部に、重複しない一意の管理番号(ID)を付与している。	☐	
1.4	整備済みメタデータを公開している(一部でも可。データベースによる公開に限らず、表形式のファイルのWeb公開でもよく、公開手段は問わない)。	☐	
1.5	公開中メタデータについて、日本語以外の言語(英語、中国語、韓国語等)でも提供している(名称/タイトル等、メタデータの一部の項目でも可。ローマ字対応でも可。)	☐	/5
【2. デジタルコンテンツの作成・提供】			
2.1	デジタルコンテンツを作成している(一部でも可)。	☐	
2.2	デジタルコンテンツの作成の際、ノイズ・色校等に留意し、一般的なフォーマットで、可能な限り高品質なものを作成している。	☐	
2.3	デジタルコンテンツの作成と同時に、サムネイル/プレビューを作成している(一部でも可)。	☐	
2.4	作成済みデジタルコンテンツ・サムネイル/プレビューを公開している。(一部でも可。データベースによる公開に限らず、Web上の静的な公開でもよく、公開手段は問わない)	☐	/4
【3. 相互運用性の確保】			
3.1	メタデータは、機械可読性が担保された形式で提供している。(表形式のファイルの場合は、ガイドラインにある留意事項に対応していること。)	☐	
3.2	サムネイル/プレビュー及びデジタルコンテンツの提供において、広く標準的に使われており、特定の製品に依存しないフォーマットに対応している。	☐	
3.3	サムネイル/プレビュー及びデジタルコンテンツに、固定URLがある。	☐	/3
【4. オープン化・二次利用可能性】			
4.1	メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツの二次利用条件をWeb上で明記している。	☐	
4.2	メタデータをCC0相当のライセンスで提供している(一部でも可)。	☐	
4.3	サムネイル/プレビューをCC0又はCC BY相当のライセンスで提供している(一部でも可)。	☐	
4.4	デジタルコンテンツをCC BY相当のライセンスで提供している(一部でも可)。	☐	
4.5	デジタルコンテンツのうち、著作権保護期間が満了しているなど著作権による制限がないデータは、パブリック・ドメイン・マーク(PDM)などを利用してその旨明示している。	☐	
4.6	デジタルコンテンツについて、第三者による利活用が可能になるよう、包括的な権利処理・利用許諾を行っている(肖像権、プライバシー権等の諸権利にも留意している)。	☐	/6
【5. 利活用促進に向けた取組】			
5.1	ブログやSNS等を通じて、デジタルコンテンツに関する情報を提供している。	☐	
5.2	利活用者とのコミュニケーションができる場として、イベントの開催やWeb上の掲示板等の交流の場を提供している。	☐	
5.3	同じ分野・地域コミュニティ内に対し、自らのデジタルアーカイブの取組について情報共有を図っている。	☐	
5.4	コンテンツ利用に関する情報やヘルプ情報を日本語以外の言語(英語、中国語、韓国語等)でも提供している。	☐	/4
【6. 持続可能性の確保】			
6.1	メタデータやデジタルコンテンツを定期的に確認し、リンク切れがないようにしている。	☐	
6.2	メタデータ(のファイル)、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツは、Web上の安定的な場所に置いている。	☐	
6.3	メタデータ・デジタルコンテンツのオリジナルデータを組織的に長期保存を意識した管理を行っている。	☐	
6.4	一般的によく使われているソフトを使ってデータ管理やウェブサイトを構築している。	☐	
6.5	デジタルアーカイブで提供しているデータについて包括的な権利処理を行い、組織統廃合時のデータ移行や他機関へのデータ譲渡に対応できるようにしている。	☐	/5

アーカイブ機関の自己点検・評価用 ゴールドモデル
(小規模機関の望ましいレベル、大規模機関の必要レベル)

評価項目		☑	合計点
【1. メタデータの整備・提供】			
1.1	所蔵するコンテンツの大部分について、メタデータを電子的に整備している。	☐	/4
1.2	メタデータをデータベースで提供している。(一部でも可)	☐	
1.3	〔同じ分野における標準的なメタデータフォーマットがある場合〕分野の標準にある程度準拠したメタデータ整備を行っている。 〔同じ分野における標準的なメタデータフォーマットがない場合〕「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」の必須項目(タイトル(ラベル)/作者(人物)/日付(時代)/場所)を含んでいる。(※タイトル以外は判明している場合のみ)	☐	
1.4	公開中メタデータについて、日本語以外の言語(英語、中国語、韓国語等)でも提供している(名称/タイトル等、メタデータの一部の項目でも可。ローマ字対応でも可。)	☐	
【2. デジタルコンテンツの作成・提供】			
2.1	デジタルコンテンツを作成又は収集している(一部でも可)。	☐	/7
2.2	デジタルコンテンツの作成の際、可能な限り高品質なもの(画像については原資料に対して400dpi以上が目安。ノイズ除去、色校等にも留意)を作成している。	☐	
2.3	デジタルコンテンツの作成と同時に、サムネイル/プレビューを作成している。	☐	
2.4	デジタルコンテンツは、データベース上で、又はメタデータと紐付けするなどして、検索可能な形で公開している。(つなぎ役等のポータルを通じて提供されている場合を含む。)	☐	
2.5	サムネイル/プレビューは、可能な限り高品質なもの(幅400pixel以上を目安)を提供している。	☐	
2.6	検索結果画面でサムネイル/プレビューが閲覧できるようにしている。	☐	
2.7	サムネイル/プレビューから、デジタルコンテンツへリンクしている。	☐	
【3. 相互運用性の確保】			
3.1	公開メタデータの詳細表示ページ(通常は検索結果画面)に、固定URLがある。	☐	/6
3.2	サムネイル/プレビュー及びデジタルコンテンツに、固定URLがある。	☐	
3.3	メタデータ(の一部の項目)にURI(Uniform Resource Identifier)を付与して公開している。	☐	
3.4	Linked Data対応のために、RDF形式のデータセット、又はURI付与済みのデータセットを公開している。	☐	
3.5	サムネイル/プレビュー及びデジタルコンテンツの提供において、広く標準的に使われており、特定の製品に依存しないフォーマットに対応している。	☐	
3.6	デジタルコンテンツの提供において、IIIF等の共通利用が可能な標準形式に準拠し、環境(特定のビューワ等)に依存しない閲覧が可能である。	☐	
【4. オープン化・二次利用可能性】			
4.1	メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツの二次利用条件をWeb上で明記している。	☐	/6
4.2	メタデータをCC0相当のライセンスで提供している。	☐	
4.3	サムネイル/プレビューをCC0又はCC BY相当のライセンスで提供している(一部でも可)。	☐	
4.4	デジタルコンテンツをCC BY相当のライセンスで提供している(一部でも可)。	☐	
4.5	デジタルコンテンツのうち、著作権保護期間が満了しているなど著作権による制限がないデータは、パブリック・ドメイン・マーク(PDM)などを利用してその旨明示している。	☐	
4.6	デジタルコンテンツの作成・収集時に、第三者による利活用が可能になるよう、包括的な権利処理・利用許諾を行っている(肖像権、プライバシー権等の諸権利にも留意している)。	☐	
【5. 利活用促進に向けた取組】			
5.1	ブログやSNS等を通じて、デジタルコンテンツに関する情報を提供している。	☐	/6
5.2	利活用者とのコミュニケーションができる場として、イベントの開催やWeb上の掲示板等の交流の場を提供している。	☐	
5.3	メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツ等、提供するデータの利活用事例をWeb上で紹介している。	☐	
5.4	同じ分野・地域コミュニティ内に対し、自らのデジタルアーカイブの取組について情報共有を図っている。	☐	
5.5	デジタルアーカイブで提供しているデータについて、更なる情報の追加や多言語化など、付加価値情報の付与に努めている(一般参加者によるタグ付け等の取組も含む)。	☐	
5.6	コンテンツ利用に関する情報やヘルプ情報を日本語以外の言語(英語、中国語、韓国語等)でも提供している。	☐	
【6. 持続可能性の確保】			
6.1	デジタルコンテンツにDOI(デジタルオブジェクト識別子)等の永続的識別子を付与して公開している。	☐	/5
6.2	自らのデータ管理においては、特定の機器(システム、メディア)等に依存しないデータ形式とし、データ移行性を担保している。	☐	
6.3	独自に安定的なシステムを確保するか、同じ分野・コミュニティ等のつなぎ役等によって提供される安定的なシステムを利用している。	☐	
6.4	システムリプレースのための人員・予算を確保して運営している。	☐	
6.5	デジタルアーカイブで提供しているデータについて包括的な権利処理を行い、組織統廃合時のデータ移行や他機関へのデータ譲渡に対応できるようにしている。	☐	

アーカイブ機関の自己点検・評価用 つなぎ役モデル
(大規模機関の望ましいレベル)

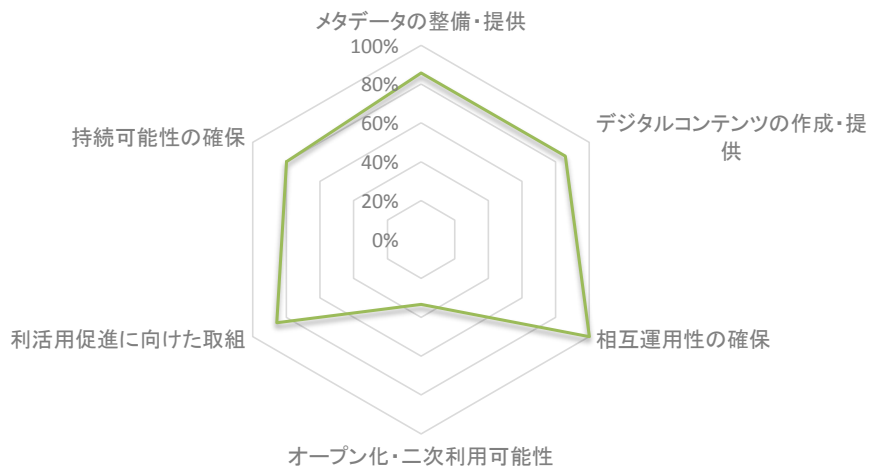
評価項目		☑	合計点
【1. メタデータの整備・提供】			
1.1	所蔵するコンテンツの大部分について、メタデータを電子的に整備している。	☐	/7
1.2	メタデータをデータベースで提供している。(一部でも可)	☐	
1.3	同じ分野・地域コミュニティにおけるメタデータを集約し、関連するポータルに提供している、または自らポータルを提供している。	☐	
1.4	同じ分野・地域における標準メタデータフォーマットを作成し、維持管理している。	☐	
1.5	〔同じ分野における標準メタデータフォーマットがある場合〕分野の標準に対応したメタデータ整備を行っている。又は、独自のフォーマットと標準との互換性を明示している。 〔同じ分野における標準的なメタデータフォーマットがない場合〕自ら標準的なモデルとなるものを作成し、メタデータ整備方法を情報公開しており、それに沿った整備を行っている。	☐	
1.6	永続的識別子としてDOIをメタデータに付与して公開している。	☐	
1.7	公開中メタデータについて、日本語以外の言語(英語、中国語、韓国語等)でも提供している(名称/タイトル等、メタデータの一部の項目でも可。ローマ字対応でも可。)	☐	
【2. デジタルコンテンツの作成・提供】			
2.1	デジタルコンテンツを作成又は収集している(一部でも可)。	☐	/7
2.2	デジタルコンテンツの作成の際、可能な限り高品質なもの(画像については原資料に対して400dpi以上が目安。ノイズ除去、色校等にも留意)を作成している。	☐	
2.3	デジタルコンテンツの作成と同時に、サムネイル/プレビューを作成している。	☐	
2.4	デジタルコンテンツは、データベース上で、又はメタデータと紐付けるなどして、検索可能な形で公開している。	☐	
2.5	サムネイル/プレビューは、可能な限り高品質なもの(幅400pixel以上を目安)を提供している。	☐	
2.6	検索結果画面でサムネイル/プレビューが閲覧できるようにしている。	☐	
2.7	サムネイル/プレビューから、デジタルコンテンツへリンクしている。	☐	
【3. 相互運用性の確保】			
3.1	公開メタデータの詳細表示ページ(通常は検索結果画面)に、固定URLがある。	☐	/8
3.2	サムネイル/プレビュー及びデジタルコンテンツに、固定URLがある。	☐	
3.3	同じ分野内の共通用語(人名・地名等)を集約し、辞書・典拠・シソーラスといった管理を行っている。	☐	
3.4	同じ分野内の共通用語(人名・地名等)を集約し、URIを付与している。	☐	
3.5	Linked Data対応のために、RDF形式のデータセット、又はURI付与済みのデータセットを公開している。	☐	
3.6	アーカイブ連携のための仕組みとして、検索用API(Open Search、SRW等)、ハーベスト用API(OAI-PMH等)を提供している。(いずれかで可)	☐	
3.7	サムネイル/プレビュー及びデジタルコンテンツの提供において、広く標準的に使われており、特定の製品に依存しないフォーマットに対応している。	☐	
3.8	デジタルコンテンツの提供において、IIIF等の共通利用が可能な標準形式に準拠し、環境(特定のビューワ等)に依存しない閲覧が可能である。	☐	
【4. オープン化・二次利用可能性】			
4.1	メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツの二次利用条件をWeb上で明記している。	☐	/6
4.2	メタデータをCC0相当のライセンスで提供している。	☐	
4.3	サムネイル/プレビューをCC0又はCC BY相当のライセンスで提供している(一部でも可)。	☐	
4.4	デジタルコンテンツをCC BY相当のライセンスで提供している(一部でも可)。	☐	
4.5	デジタルコンテンツのうち、著作権保護期間が満了しているなど著作権による制限がないデータは、パブリック・ドメイン・マーク(PDM)などを利用してその旨明示している。	☐	
4.6	デジタルコンテンツの作成・収集時に、第三者による利活用が可能になるよう、包括的な権利処理・利用許諾を行っている(肖像権、プライバシー権等の諸権利にも留意している)。	☐	
【5. 利活用促進に向けた取組】			
5.1	ブログやSNS等を通じて、デジタルコンテンツに関する情報を提供している。	☐	
5.2	利活用者とのコミュニケーションができる場として、イベントの開催やWeb上の掲示板等の交流の場を提供している。	☐	
5.3	メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツ等、提供するデータの利活用事例をWeb上で紹介している。	☐	
5.4	同じ分野・地域コミュニティ内に対し、意識向上に向けて、利活用促進となる取組を行っている(フォーラム開催又はそれへの参加等)。	☐	
5.5	デジタルアーカイブで提供しているデータについて、更なる情報の追加や多言語化など、付加価値情報の付与に努めている(一般参加者によるタグ付け等の取組も含む)。	☐	
5.6	Linked Dataによって、異なる機関が提供するデータとの関連付けを行い、その情報を提供している。	☐	

5.7	コンテンツ利用に関する情報やヘルプ情報を日本語以外の言語(英語、中国語、韓国語等)でも提供している。	☐	/7
【6. 持続可能性の確保】			
6.1	デジタルコンテンツにDOI(デジタルオブジェクト識別子)等の永続的識別子を付与して公開している。	☐	/5
6.2	自らの管理と提供用データベースは、特定の機器(システム、メディア)等に依存しないデータ形式とし、データ移行性を担保している。	☐	
6.3	同じ分野・地域のために、安定的な統合プラットフォームを構築・運用している。	☐	
6.4	システムリプレースのための人員・予算を確保して運営している。	☐	
6.5	デジタルアーカイブで提供しているデータについて包括的な権利処理を行い、組織統廃合時のデータ移行や他機関へのデータ譲渡に対応できるようにしている。	☐	

アーカイブ機関の自己点検・評価用 つなぎ役モデル (大規模機関の望ましいレベル)		
評価項目	☑	合計点
【1. メタデータの整備・提供】		
1.1 所蔵するコンテンツの大部分について、メタデータを電子的に整備している。	☑	6/7
1.2 メタデータをデータベースで提供している。(一部でも可)	☑	
1.3 同じ分野・地域コミュニティにおけるメタデータを集約し、関連するポータルに提供している、または自らポータルを提供している。	☑	
1.4 同じ分野・地域における標準メタデータフォーマットを作成し、維持管理している。	☑	
1.5 [同じ分野における標準メタデータフォーマットがある場合]分野の標準に対応したメタデータ整備を行っている。又は、独自のフォーマットと標準との互換性を明示している。 [同じ分野における標準的なメタデータフォーマットがない場合]自ら標準的なモデルとなるものを作成し、メタデータ整備方法を情報公開しており、それに沿った整備を行っている。	☑	
1.6 永続的識別子としてDOIをメタデータに付与して公開している。	☑	
1.7 公開中メタデータについて、日本語以外の言語(英語、中国語、韓国語等)でも提供している(名称/タイトル等、メタデータの一部の項目でも可。ローマ字対応でも可。)	☐	
【2. デジタルコンテンツの作成・提供】		
2.1 デジタルコンテンツを作成又は収集している(一部でも可)。	☑	6/7
2.2 デジタルコンテンツの作成の際、可能な限り高品質なもの(画像については原資料に対して400dpi以上が目安。ノイズ除去、色校等にも留意)を作成している。	☑	
2.3 デジタルコンテンツの作成と同時に、サムネイル/プレビューを作成している。	☑	
2.4 デジタルコンテンツは、データベース上で、又はメタデータと紐付けるなどして、検索可能な形で公開している。	☑	
2.5 サムネイル/プレビューは、可能な限り高品質なもの(幅400pixel以上を目安)を提供している。	☐	
2.6 検索結果画面でサムネイル/プレビューが閲覧できるようにしている。	☑	
2.7 サムネイル/プレビューから、デジタルコンテンツへリンクしている。	☑	
【3. 相互運用性の確保】		
3.1 公開メタデータの詳細表示ページ(通常は検索結果画面)に、固定URLがある。	☑	8/8
3.2 サムネイル/プレビュー及びデジタルコンテンツに、固定URLがある。	☑	
3.3 同じ分野内の共通用語(人名・地名等)を集約し、辞書・典拠・シソーラスといった管理を行っている。	☑	
3.4 同じ分野内の共通用語(人名・地名等)を集約し、URIを付与している。	☑	
3.5 Linked Data対応のために、RDF形式のデータセット、又はURI付与済みのデータセットを公開している。	☑	
3.6 アーカイブ連携のための仕組みとして、検索用API(Open Search、SRW等)、ハーベスト用API(OAI-PMH等)を提供している。(いずれかで可)	☑	
3.7 サムネイル/プレビュー及びデジタルコンテンツの提供において、広く標準的に使われており、特定の製品に依存しないフォーマットに対応している。	☑	
3.8 デジタルコンテンツの提供において、IIIF等の共通利用が可能な標準形式に準拠し、環境(特定のビューワ等)に依存しない閲覧が可能である。	☑	
【4. オープン化・二次利用可能性】		
4.1 メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツの二次利用条件をWeb上で明記している。	☑	2/6
4.2 メタデータをCC0相当のライセンスで提供している。	☐	
4.3 サムネイル/プレビューをCC0又はCC BY相当のライセンスで提供している(一部でも可)。	☐	
4.4 デジタルコンテンツをCC BY相当のライセンスで提供している(一部でも可)。	☐	
4.5 デジタルコンテンツのうち、著作権保護期間が満了しているなど著作権による制限がないデータは、パブリック・ドメイン・マーク(PDM)などを利用してその旨明示している。	☑	
4.6 デジタルコンテンツの作成・収集時に、第三者による利活用が可能になるよう、包括的な権利処理・利用許諾を行っている(肖像権、プライバシー権等の諸権利にも留意している)。	☐	
【5. 利活用促進に向けた取組】		
5.1 ブログやSNS等を通じて、デジタルコンテンツに関する情報を提供している。	☑	
5.2 利活用者とのコミュニケーションができる場として、イベントの開催やWeb上の掲示板等の交流の場を提供している。	☑	
5.3 メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツ等、提供するデータの利活用事例をWeb上で紹介している。	☑	
5.4 同じ分野・地域コミュニティ内に対し、意識向上に向けて、利活用促進となる取組を行っている。(連携機関によるフォーラム開催又はそれへの参加等)	☑	
5.5 デジタルアーカイブで提供しているデータについて、更なる情報の追加や多言語化など、付加価値情報の付与に努めている(一般参加者によるタグ付け等の取組も含む)。	☐	

5.6	Linked Dataによって、異なる機関が提供するデータとの関連付けを行い、その情報を提供している。	☒	6/7
5.7	コンテンツ利用に関する情報やヘルプ情報を日本語以外の言語(英語、中国語、韓国語等)でも提供している。	☒	
【6. 持続可能性の確保】			
6.1	デジタルコンテンツにDOI(デジタルオブジェクト識別子)等の永続的識別子を付与して公開している。	☒	4/5
6.2	自らの管理と提供用データベースは、特定の機器(システム、メディア)等に依存しないデータ形式とし、データ移行性を担保している。	☒	
6.3	同じ分野・地域のために、安定的な統合プラットフォームを構築・運用している。	☒	
6.4	システムリプレースのための人員・予算を確保して運営している。	☒	
6.5	デジタルアーカイブで提供しているデータについて包括的な権利処理を行い、組織統廃合時のデータ移行や他機関へのデータ譲渡に対応できるようにしている。	☐	

国立国会図書館 評価指標達成率(記入例)



デジタルアーカイブ 外部点検・評価項目

評価項目		☑	合計点
【1. メタデータの整備・提供】			
1.1	メタデータが電子的に公開されている(一部でも可)。	☐	/3
1.2	メタデータが、機械可読性が担保された表形式のファイルか、データベースによって公開されている(検索が可能)。	☐	
1.3	日本語以外の言語(英語、中国語、韓国語等)でも提供されている(名称/タイトル等、メタデータの一部の項目でも可。ローマ字対応でも可。)	☐	
【2. デジタルコンテンツ】			
2.1	デジタルコンテンツが公開されている(一部でも可)。	☐	/8
2.2	デジタルコンテンツに加えて、サムネイル/プレビューが公開されている(一部でも可)。	☐	
2.3	デジタルコンテンツは、データベース上で公開する、又はメタデータと紐付けるなどして、検索可能な形で公開されている。	☐	
2.4	デジタルコンテンツは、カラーチャート・メジャー等が参照できる等、適切な色調管理がされている。	☐	
2.5	デジタルコンテンツがダウンロード可能である。(一部でも可)	☐	
2.6	高精細画像、超高精細画像が提供されている。(一部でも可)	☐	
2.7	検索結果一覧画面でサムネイル/プレビューが閲覧できる。	☐	
2.8	サムネイル/プレビューから、デジタルコンテンツへリンクしている。	☐	
【3. 相互運用性】			
3.1	同じ分野又は地域コミュニティの統合ポータルを通じて他機関のデータベースとの横断検索が可能になっている。	☐	/7
3.2	APIが実装されており、メタデータの取得が可能である。	☐	
3.3	公開されているメタデータ(の項目の一部)に、URIが付与されている。	☐	
3.4	RDF形式のデータセット、又はURI付与済みのデータセットが公開されている。	☐	
3.5	共通用語(人名・地名等)が、辞書・典拠・シソーラスといった方法によって統制されており、検索が容易である。	☐	
3.6	デジタルコンテンツ、サムネイル/プレビューは、一般的なファイル形式(PDF・JPEG2000・PNG・JPEG等)で公開されている。	☐	
3.7	デジタルコンテンツの提供において、IIIF等の共通利用が可能な標準形式に準拠し、環境(特定のビューワ等)に依存しない閲覧が可能になっている。	☐	
【4. オープン化・二次利用可能性】			
4.1	メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツの利用に関する問合せ先をWeb上で明記されている。	☐	/6
4.2	メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツの二次利用条件がWeb上で明記されている。	☐	
4.3	メタデータがCC0相当のライセンスで提供されている。	☐	
4.4	サムネイル/プレビューをCC0又はCC BY相当のライセンスで提供されている(一部でも可)。	☐	
4.5	デジタルコンテンツをCC BY相当のライセンスで提供している(一部でも可)。	☐	
4.6	デジタルコンテンツのうち、著作権保護期間が満了しているなど著作権による制限がないデータは、パブリック・ドメイン・マーク(PDM)などを利用してその旨明示されている。	☐	
【5. 利活用促進に向けた取組】			
5.1	ブログやSNS等を通して、デジタルコンテンツや電子展示会に関わる情報が提供されている。	☐	/4
5.2	イベントの実施や、活用者同士がコミュニケーションできるツール・場の提供を通して、活用コミュニティの形成・活性化が図られている。	☐	
5.3	提供するデータ(メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツ等)の利活用事例をWeb上で紹介している。	☐	
5.4	コンテンツに関する情報やヘルプ情報が日本語以外の言語(英語、中国語、韓国語等)でも提供されている。	☐	
【6. 持続可能性】			
6.1	ウェブサイト、プラットフォーム全体について、特定の規格やツールに依存せず閲覧できる。	☐	/3
6.2	メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツ等のリンク切れがない。	☐	
6.3	デジタルコンテンツにDOI(デジタルオブジェクト識別子)等の永続的識別子が付与されてい	☐	

デジタルアーカイブ 外部点検・評価項目

評価項目		☑	合計点
【1. メタデータの整備・提供】			
1.1	メタデータが電子的に公開されている(一部でも可)。	☑	3/3
1.2	メタデータが、機械可読性が担保された表形式のファイルか、データベースによって公開されている(検索が可能)。	☑	
1.3	日本語以外の言語(英語、中国語、韓国語等)でも提供されている(名称/タイトル等、メタデータの一部の項目でも可。ローマ字対応でも可。)	☑	
【2. デジタルコンテンツ】			
2.1	デジタルコンテンツが公開されている(一部でも可)。	☑	8/8
2.2	デジタルコンテンツに加えて、サムネイル/プレビューが公開されている(一部でも可)。	☑	
2.3	デジタルコンテンツは、データベース上で公開する、又はメタデータと紐付けるなどして、検索可能な形で公開されている。	☑	
2.4	デジタルコンテンツは、カラーチャート・メジャー等が参照できる等、適切な色調管理がされている。	☑	
2.5	デジタルコンテンツがダウンロード可能である。(一部でも可)	☑	
2.6	高精細画像、超高精細画像が提供されている。(一部でも可)	☑	
2.7	検索結果一覧画面でサムネイル/プレビューが閲覧できる。	☑	
2.8	サムネイル/プレビューから、デジタルコンテンツへリンクしている。	☑	
【3. 相互運用性】			
3.1	同じ分野又は地域コミュニティの統合ポータルを通じて他機関のデータベースとの横断検索が可能になっている。	☑	6/7
3.2	APIが実装されており、メタデータの取得が可能である。	☑	
3.3	公開されているメタデータ(の項目の一部)に、URIが付与されている。	☑	
3.4	RDF形式のデータセット、又はURI付与済みのデータセットが公開されている。	☑	
3.5	共通用語(人名・地名等)が、辞書・典拠・シソーラスといった方法によって統制されており、検索が容易である。	☑	
3.6	デジタルコンテンツ、サムネイル/プレビューは、一般的なファイル形式(PDF・JPEG2000・PNG・JPEG等)で公開されている。	☑	
3.7	デジタルコンテンツの提供において、IIIF等の共通利用が可能な標準形式に準拠し、環境(特定のビューワ等)に依存しない閲覧が可能になっている。	☐	
【4. オープン化・二次利用可能性】			
4.1	メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツの利用に関する問合せ先をWeb上で明記されている。	☑	6/6
4.2	メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツの二次利用条件がWeb上で明記されている。	☑	
4.3	メタデータがCC0相当のライセンスで提供されている。	☑	
4.4	サムネイル/プレビューをCC0又はCC BY相当のライセンスで提供されている(一部でも可)。	☑	
4.5	デジタルコンテンツをCC BY相当のライセンスで提供している(一部でも可)。	☑	
4.6	デジタルコンテンツのうち、著作権保護期間が満了しているなど著作権による制限がないデータは、パブリック・ドメイン・マーク(PDM)などを利用してその旨明示されている。	☑	
【5. 利活用促進に向けた取組】			
5.1	ブログやSNS等を通して、デジタルコンテンツや電子展示会に関わる情報が提供されている。	☑	4/4
5.2	イベントの実施や、活用者同士がコミュニケーションできるツール・場の提供を通して、活用コミュニティの形成・活性化が図られている。	☑	
5.3	提供するデータ(メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツ等)の利活用事例をWeb上で紹介している。	☑	
5.4	コンテンツに関する情報やヘルプ情報が日本語以外の言語(英語、中国語、韓国語等)でも提供されている。	☑	
【6. 持続可能性】			
6.1	ウェブサイト、プラットフォーム全体について、特定の規格やツールに依存せず閲覧できる。	☑	2/3
6.2	メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツ等のリンク切れがない。	☑	
6.3	デジタルコンテンツにDOI(デジタルオブジェクト識別子)等の永続的識別子が付与されてい	☐	

アムステルダム国立美術館「Rijks Studio」
評価指標達成率(記入例)

